

観光から島の魅力を再発見!



『周防大島テイクアウト・デリバリーサービス』



周防大島観光協会
☎ 0820 (72) 2134



新型コロナウイルスの感染拡大による影響は長期化が予想され、観光業も人の移動が制限されたことにより大打撃を受けていますが、周防大島町内において現在もっとも影響を受けている業種のひとつが飲食業です。

周防大島の観光業において大きな魅力のひとつである飲食業へのダメージは、観光立島を掲げる本町にとって最大のリスクだと考えています。

この現状を踏まえて周防大島観光協会では、町内飲食店を対象とした「周防大島テイクアウト・デリバリーサービス」事業を早急に立ち上げました。

参画店舗のテイクアウトやデリバリーサービスに

ついて、紙媒体や web ページ、ケーブルテレビの行政チャンネル等を活用して町内向けにご案内することで、自宅待機でお困りの皆さんへ、町民サービスの一環として、また町内飲食店の営業支援になればと考えています。

コロナ疲れの日々に少しでも彩りを添えるべく、飲食店が真心を込めて美味しい料理で食卓をお支えます。そして何より、町民の皆さまからのご注文が飲食店にとって温かい支援となります。

また、休校中の学生・児童の皆さんには、給食代わりとしてご利用いただけるようなメニューも準備中ですので是非ともご用命ください。

5月1日～6月30日

全国一斉 不正大麻・けし撲滅運動

麻薬の中で、乱用されて社会問題となるのが、けしから取れるアヘンやモルヒネです。

けしの中でも、「おにげし」や「ひなげし」などは、麻薬成分を含んでおらず観賞用として植えても良いのですが、「セティゲルム種」、「ソムニフェルム種」のけしや「ハカマオニゲシ」は麻薬成分を含んでおり、勝手に植えてはいけません。

また、大麻も法律で栽培が禁止されており、勝手に植えることはできません。

なお、令和元年度は、期間中に県下 90 カ所において、約 3 万 4 千本もの植えてはいけないけしが発見されました。

大麻、植えてはいけないけしを発見した場合や見分け方が分からないときは…

■柳井健康福祉センター

☎ 0820 (22) 3631

■周防大島幹部交番

☎ 0820 (72) 0110

■セティゲルム種、ソムニフェルム種の見分け方



- 全体が白っぽい緑色である。
- 葉のまわりの切れ込みが浅く、つけ根が茎を抱きこんでいる。
- 一重咲きの花は、花びら 4 枚で、色は赤、桃、紫、白などがある。また、多数の花びらがついた八重咲きの花もある。

■ハカマオニゲシの見分け方



- 花の色が深紅色である。
- 花の下に 4～8 個のハカマ（苞葉：ほうよう）がある。
- 花びらの基部に黒紫色の斑点がある。

■大麻の見分け方



- 葉にノコギリ状の切れ込みがある。
- 葉は 3～9 枚の小葉が集まり手のひらのような形をしている。